

H 2 8 年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金

(慢性の痛み政策研究事業)

慢性の痛み診療・教育の基盤となるシステム構築に関する研究

分担研究報告書

運動器慢性痛において薬物依存に影響を及ぼす因子に関する研究

研究分担者 西田 圭一郎 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科機能制御学講座

人体構成学分野 准教授

研究協力者 鉄永 倫子 岡山大学病院医療安全管理部/整形外科 助教

研究要旨

慢性痛患者 151 例において薬物依存度に影響を与える因子について検討した。薬物依存重症度尺度で薬物依存なしと判定された症例は 91 例(60%)、薬物依存ありと判定された症例は 60 例(40%)であった。重回帰分析の結果、腰痛、股関節痛、PDAS が薬物依存度に影響を与える因子として算出され、慢性痛の中でも部位により薬物依存傾向に違いがあることがわかった。また、薬物依存を見極める上で PDAS が診療での指標の一つとなりうることが示唆された。

A . 研究目的

慢性痛患者において薬物依存度に影響を与える因子について検討すること。

B . 研究方法

慢性痛患者 151 例(男性 43 例、女性 108 例)を対象とした。平均年齢は 72 歳(25 ~ 92 歳)であった。対象の疼痛部位は腰部が 96 例、肩関節が 22 例、股関節が 8 例、膝関節が 77 例であった。以上の症例において薬物依存重症度尺度で 4 点以下を薬物依存なし、5 点以上の症例を薬物依存ありとして 2 群に分けた。両群間で年齢、性別、罹病期間、疼痛部位、内服薬の数、Numerical rating scale(NRS)、疼痛生活障害評価として Pain Disability Assessment Scale(PDAS)、不安抑うつ評価として Hospital Anxiety and Depression Scale(HADS)、破局的思考評価として Pain Catastrophizing Scale (PCS)について単変量分析を行った。また、単変量分析で有意差を

認めたものを説明変数とし、薬物依存度を目的変数とする重回帰分析を行い薬物依存度に影響を与える因子を検討した。

(倫理面への配慮)

この研究は倫理委員会の承認を受けている。参加者からは同意の上アンケート実施した。

C . 研究結果

薬物依存重症度尺度で薬物依存なしと判定された症例は 91 例(60%)、薬物依存ありと判定された症例は 60 例(40%)であった。単変量分析の結果、腰痛、股関節痛、内服薬の数、NRS、PDAS、HADS、PCS で両群間に有意差を認めた($p < 0.05$)。重回帰分析の結果では、腰痛、股関節痛、PDAS が薬物依存度に影響を与える因子として算出された($p < 0.05$)。

D . 考察

本検討により、慢性痛の中でも部位により薬物依存傾向に違いがあり、腰痛、股関節痛

では薬物依存となる可能性が高いことが示された。この要因として、部位により疼痛の特性に違いがあること、あるいは、本邦においては膝関節、肩関節は関節内注射が保険適応で認められており、定期的な関節内注射により薬物依存に移行する割合が少なくなった可能性も考えられた。また、PDAS が薬物依存に影響を与える因子として算出され、今後診療での指標の一つとなりうることが示唆された。

E . 結論

腰痛、股関節痛、PDAS が薬物依存度に影響を与える因子として算出され、慢性痛の中でも部位により薬物依存傾向に違いがあることがわかった。

F . 健康危険情報

総括研究報告書にまとめて記載。

G . 研究発表

1. 論文発表

Nishida K, Natsumeda M, Nasu Y, Ezawa K. Dramatic Effect of Tofacitinib on TNFInhibitor Resistant Synovitis: A Case Report. Rheumatology (Sunnyvale) 2016, 6:1. doi:10.4172/2161-1149.1000185

Effect of Tramadol/Acetaminophen on Motivation in Patients with Chronic Low Back Pain.

Tetsunaga T, Tetsunaga T, Tanaka M, Nishida K, Takei Y, Ozaki T.

Pain Res Manag. 2016;2016:7458534.

西田圭一郎. リウマチ上肢の外科的治療の update. 特集 関節リウマチ update.

日本臨牀 74 (6):981-985, 2016.

鉄永 倫子, 鉄永 智紀. 【運動器疼痛性疾患に対する薬物療法 update】 運動器疾患に対

する非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs)の使い方. 整形・災害外科 59 巻 2 号 Page155-162

2. 学会発表

西田圭一郎: 関節リウマチの痛みと治療アプローチ. 第 9 回日本運動器疼痛学会, ランチオンセミナー, 2016.11.26-27, 東京

運動器慢性痛において自己効力感に影響を及ぼす因子の検討 鉄永 倫子(岡山大学 大学院整形), 鉄永 智紀, 田中 雅人, 杉本 佳久, 荒瀧 慎也, 瀧川 朋亨, 尾崎 敏文, 竹井 義隆, 日本整形外科学会雑誌 (0021-5325)90 巻 3 号 Page S1078(2016.03)

慢性腰痛患者においてプレガバリンとアセトアミノフェン併用は有用か. 鉄永 倫子(岡山大学 大学院整形), 鉄永 智紀, 田中 雅人, 杉本 佳久, 荒瀧 慎也, 瀧川 朋亨, 尾崎 敏文, 竹井 義隆, 日本整形外科学会雑誌 (0021-5325)90 巻 3 号 Page S876(2016.03)

岡山大学病院における難治性慢性痛に対する集学的治療の検討. 鉄永 倫子(岡山大学 大学院整形), 西田 圭一郎, 鉄永 智紀, 尾崎 敏文, 西江 宏行, 太田 晴之, 井上 真一郎, 小田 幸治, 龍野 耕一, 宮脇 卓也, 神崎 浩孝, 日本整形外科学会雑誌 (0021-5325)90 巻 2 号 Page S39(2016.03)

H . 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし